

# 金沢市地域防災計画改定の骨子

## 改定の趣旨

- 本市における令和6年能登半島地震の災害対応では、避難所開設や情報発信等において、災害対応上教訓とすべき様々な課題が明らかになりました。
- 次なる大規模災害の発生を見据え、今回の災害対応における課題を検証し、対策することにより、本市の災害対応体制の強化を図るものです。
- 「能登半島地震課題検証会議」や庁内ワーキングで議論を重ね、その結果を反映することにより、地域防災計画をより一層実効性の高い内容に改定し、「災害に強いまちづくり」を推進します。

## 改定方針

- 金沢市地域防災計画について、令和6年能登半島地震の災害教訓や課題検証会議の意見を反映し、以下の3つの方針を柱に改定を行います。

### ① 能登半島地震を教訓とした避難所運営の改善

### ② 大規模災害を見据えた対応体制の強化

### ③ 市民への情報発信力強化、防災啓発の充実

## 改定の内容

### ① 能登半島地震を教訓とした避難所運営の改善

- ・避難所に自動解除キーボックスを導入し、迅速な避難所開設体制を構築します。
- ・ペットは同行避難を原則とし、飼い主向けの災害時ペット対策事例集を作成し、同伴避難については、受入可能施設の選定など検討を継続します。
- ・女性目線、LGBTQ目線での避難所運営に向け、プライベートルーム、専用エリアを確保し、性犯罪を起こさせないための照明を配備します。
- ・避難者の高齢化を見据え、拠点避難所等に車いすやスロープ、歩行器などの基本的な福祉用具を配備します。
- ・自主防災組織、施設管理者、市による事前協議を実施し、あらかじめ避難所のレイアウト等を取り決めます。
- ・石川県の地震被害想定見直しに合わせ、避難所の適正配置、備蓄の拡充を図ります。

自動解除キーボックス(イメージ)



(出典:富津市ホームページ)

プライベートルームテント



### ② 大規模災害を見据えた対応体制の強化

- ・災害発生時における、本市の初動体制の見直し・強化を図ります。
- ・金沢駅や中心市街地、観光地での帰宅困難者対応マニュアルを策定し、関係機関との連携を強化します。
- ・断水時における衛生環境対策として、トイレトレーラーの配備、マンホールトイレの整備推進、防災井戸の活用強化を図ります。
- ・専門的なNPO法人等との災害時協力協定の締結を推進するとともに、既存協定内容の見直しを行います。
- ・協定締結事業者や関係団体と連携した、具体的な合同初動訓練を実施します。
- ・車中避難者への対応力を強化します。
- ・他市町で災害が発生した場合の応援力・支援力の強化を検討します。
- ・孤立集落への対応のあり方を検討します。

トイレトレーラー(イメージ)



(出典:南あわじ市ホームページ)

防災井戸の活用



### ③ 市民への情報発信力強化、防災啓発の充実

- ・避難所受付や開設状況のDX化を図り、情報集約を迅速化します。
- ・情報発信の入力作業を一元化し、多様なツールで避難情報を発信します。
- ・3Dマップ、VR技術を活用した体験型の防災学習、啓発を推進します。
- ・企業防災士の育成・支援、社内備蓄を推進します。
- ・ハザードマップの周知、非常用持ち出し袋の持参率向上などに向けた、防災啓発チラシを配布します。
- ・金沢市に在住する外国人対応として、平時から防災啓発や情報発信に努めます。

VR体験型防災学習(イメージ)



(出典:仙台市ホームページ)

外国人対応訓練

